

囲いやま森の会 活動記録

2007.11.12 野口 功

日 時： 2007.11.6 (火) 10~12時 天気： 晴

記録・写真： 山田幸子

観察記録

あの暑かった夏がまるで夢だったように感じられる、爽やかな季節となっていました。

囲い山の森で目立つのは、鮮やかに紅葉している ツタ、マユミ、ムラサキシキブ、マサキ、ヨウシュヤ マゴボウ、ネズミモチなどの実、種類は少なくなりましたが足元にみられるキノコ。

生き物は少なくなっていますが、生命のつながりを実感できる季節となってきています。

- 1) 今の季節美しく紅葉しているのはナツツタです。絡みつかれた木はまるで違う木のように見えます。太陽の光を透かしてみた美しさは格別です。
- 2) マユミはピンク色の実の皮が目立つのでこれを花と勘違いすることがあります。昔この材で弓を作ったことから真弓の名があるそうです。
- 3) ムラサキシキブは初夏に淡紫色の花をたくさん付けます。この季節には鮮やかな紫色の実が観察でき、一年に二度楽しめます。果実の美しさを紫式部に例えたとの説があります。
- 4) トビナナフシは小さな羽があり飛ぶことができます。ナナフシの仲間は木の枝によく似ていて見つけるのが難しいです。これを擬態といいます。脅すと死んだふりをすることがあります。
- 5) ネズミモチは楕円形で黒紫色の実をつけます。実をつぶすと中から白いスプーンの様な形をしたものがでできます。これは子葉です。

開花植物

木本： キヅタ

草本： ハキダメギク・イヌタデ・ウシハコベ・ツユクサ・カントウヨメナ・オオバコ・ノボロギク・セイタカアワダチソウ

実についている植物： ミズキ・マサキ・ヨウシュヤマゴボウ・

ムラサキシキブ・コブシ・ネズミモチ・カナムグラ・アオキ

鳥： ヒヨドリ・モズ・シジュウカラ・アオジ・ツミ2?・ハシブトガラス

昆虫： アオバハゴロモ・トビナナフシ

クモ： ジョロウグモ

その他の生き物： ムカデ・マイマイの仲間

モニタリング区画 A：

アカメガシワ幼樹12・アオキ幼樹8・エノキ幼樹8・
ムクノキ幼樹5・シユロ幼樹・ムラサキシキブ幼樹2・
ニワトコ幼樹・サンショウ幼樹・タラノキ幼樹・マユミ幼樹・
イヌツゲ幼樹・ケヤキ幼樹・シラカシ幼樹・ゴンズイ幼樹・
ツルウメモドキ幼樹・ミズキ幼樹・ヤツデ30cm位・
アオツズラフジ幼樹・ヒヨドリジョウゴ8・イヌホウズキ
4・カラスウリ4・アマチャズル・ヨウシュヤマゴボウ・
カタバミ・スミレ・ツタ多数



区画 A

モニタリング区画 B：

アオキ幼樹9・マンリョウ幼樹・クヌギ幼樹・ミズキ幼樹・
フジ幼樹・シラカシ幼樹多数・ハナイカダ2・
リュウノヒゲ10余り・ツタ多数・ササ多数



区画 B

